



	2月				3月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
今年	19.3	13.3	16.4	64.5	21.9	15.8	18.8	107.0
平年	18.9	13.4	16.3	104.5	20.0	14.4	17.2	144.0
平年との差	+0.4	-0.1	+0.1	-40.0	+1.9	+1.4	+1.6	-37.0

### ごあいさつ

生和糖業株式会社 喜界工場  
工場長 松門 弘法

皆さん、こんにちは。

今期は1月7日圧搾を開始して79日間の操業となり3月27日に終了しました。ご存知通り今期のキビの作柄は昨年度に続き非常に悪く、当初11月1日見込み68,300トンから大きく下回り、最終的な圧搾量は57,606.8トンとなりました。夏場までの順調な生育を見て、昨年度より良い作柄と期待していましたが、9月中旬から連続襲来した台風15号16号17号の影響を受け、そのダメージが予想を超えるものとなりました。奄美群島全体では44億円超の農業関係被害があり、そのうち基幹作物のさとうきび被害は21億5千万円となって、喜界島も例外ではありませんでした。今期は昨年を26トン下回りました。搬入されてくるキビに空洞化が多く見られ重量の軽いキビがありました。又、昨年ほどではありませんでしたが、メイチュウによる芯枯れキビも若干見られました。キビの減産は、生産農家はもとよりハーベスター事業者、運送会社、農協、当工場など関係する全ての方々に大きなダメージを与え、町の経済にも大きな影響を及ぼす結果となりました。自然災害はどうすることもできませんが、結果を引きずることなく来期に向けて関係機関一致協力してキビ増産に向けた取り組みを始めていきましょう。



《 搬入終了式 》

### 収穫面積・生産量の推移

作型	夏植			秋植			春植			株出			合計		
	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量
各年	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t
今期	27,619	5,724	15,808	11,529	5,468	6,303	13,836	3,737	5,171	72,881	4,161	30,324	125,865	4,577	57,606
H23/24期	36,609	5,462	19,996	9,435	4,908	4,631	14,530	4,446	6,460	65,435	4,057	26,545	126,009	4,573	57,632
前期との差	-8,990	+262	-4,188	+2,094	+560	+1,672	-694	-709	-1,289	+7,446	+104	+3,779	-144	+4	-26
H22/23期	39,567	8,432	33,362	8,123	8,318	6,757	12,855	6,387	8,210	62,360	6,236	38,890	122,905	7,096	87,219

※ 今期も上記の通り昨年より更に下回り、史上最低の生産量を記録しました。

### さとうきびの買入糖度・買入価格・トラッシュ率・工場歩留の推移

項目	買入糖度 (%)	糖度帯 (%)			平均買入価格 (交付金込)	対前年比 (%)	トラッシュ率 (%)	工場歩留 (%)
		基準以下	基準内	基準以上				
各年								
今期	13.98	21.9	43.7	34.4	21,327	98.7	8.96	12.51
H23/24期	13.93	21.1	49.0	29.9	21,613	94.2	12.48	11.93
H22/23期	14.34	11.5	37.7	50.0	22,954	103.7	8.64	12.53

※ 害虫被害も加わり糖度は基準以下の比率が増加し、又買入価格も低下しました。

### 各社の製糖状況

項目	生和糖業	生産量				買入糖度 (度)
		今期 (t)	H23/24期 (t)	増減量 (t)	増減率 (%)	
喜界島	生和糖業	57,606	57,632	-26	±0	13.98
種子島	新光糖業	操業中	170,564	-	-	-
奄美	富国製糖	16,657	16,996	-339	-2.0	14.58
徳之島	南西糖業	125,408	142,086	-16,678	-13.3	13.49
沖永良部	南栄糖業	53,680	50,365	+3,315	+6.2	13.63
与論	与論島製糖	21,450	17,752	+3,698	+17.2	11.93

※ 各社共に台風・メイチュウ被害で、前年と同様な収量になりました。



## 今春も一芽苗を無償配布しました

喜界町さとうきび生産対策協議会は、今春も株出欠株補植用として、3月末から4月上旬にかけて営農支援センターの協力のもと希望者に一芽苗を無償配布しました。

昨年補植した株出圃場の搬入の実績は、下記の通りでした。



一芽苗補植圃場収量比較

	搬入量 (kg)	面積 (a)	単収 (kg)	比率 (%)
補植有	1,753	3.71	4,725	117.0
補植無	3,750	9.29	4,037	100.0
計	5,503	13.00	(平均) 4,233	

(一芽苗補植後の圃場 平成24年8月24日撮影)

株出一芽苗を補植して茎数確保を図り、確実に増収しました。これにより次年度の茎数確保にもつながります。限られた耕作面積で高収量を上げるポイントとしては

- 1 土作り(堆肥や緑肥を活用する)
- 2 培土作業は梅雨までにやる
- 3 適期管理を心がける
- 4 雑草を生やさない

等があげられますが、やはり大事なことは、**小まめに圃場を見る** ことかもしれません。

営農支援センターの一芽苗栽培風景



## 気をつけよう！

今製糖期もたくさんのさとうきびの搬入がありました。

年々機械化が進みハーベスターの搬入率が約84%になっております。刈取時の収穫作業も労力的に軽減され、今は植付、栽培等だけに携わる生産者も珍しくありません。

省力化になり、その分当社へ搬入されるさとうきびの中には草木や土などの砂糖の原料にならない夾雑物もかなり混入しています。中には外見上夾雑物の方が多く、逆にさとうきびが見え隠れする原料もあり、著しく草木の多いさとうきびは、分別をお願いした事例もありました。今期搬入された雑草の中で特に多かったのはセンダングサでした。

雑草が混入されたまま圧搾すると絞り出したきび汁から製造される砂糖の品質が低下します。

クリーンケーンが売買の取引基本ですので、今後とも畑の除草等に十分注意していただき、お互い迷惑にならないようしましょう。



### さとうきびに混入する主な雑草と使用する除草剤

【 センダングサ 】



《 使用例 》

センコル水和剤

200 ℓ/1反 効力 40~50日

【 アサガオ 】



《 使用例 》

2-4Dアミン塩

200 ℓ/1反 収穫前 90日前まで

お知らせ

### 有機物資材 (ハカマ、フィルターケーキ、EM菌入)

灰

販売中！

各1台(3トﾝ車) 4,500円！！

きび農家には一部助成あり、詳細はお問い合わせを！  
喜界農業開発組合 (65-4951)

バガス

販売中！

運搬車 { 会社車使用 500円 / 1台  
個人所有車使用 100円 / 1台

お問い合わせ 生和糖業(株) 業務部 (65-3131)

編集後記

過日、身近な野草でハーブティーを楽しむ企画に参加した。恥ずかしながら、毎日目にする野草をただの雑草とばかりの認識で、ヨモギはフトゥムッチー(ヨモギ餅)、サクナー(ボタンポウフウ)は天ぷらで食用する以外、さほど関心もなかった。ツルナ、タイワンソクズ、センダングサ・・・等身体に良い薬草や又毒性のある野草を知ることができ、庭や野にある野草の名前やその効能に驚いた。野草が食用に薬草にと、かつて活用していたであろう先人ちの話に耳を傾けたい。★喜界島のアルカリ性土壌で育つ食物はミネラルが豊富に含んでいるとも聞く。栄養価も高い食材が身近にあることに気づき、地元で採れる野菜、野草の価値を知り、又身近に楽しむ企画に大いに参加したい。